

# 振興会だより

令和5年4月26日発行  
編集・発行 振興会  
羽田地区センター  
羽田地区

## 「野草園を」 芝生化しました

指定管理事業費を活用し、児童クラブ前「野草園」を撤去し芝生化しました。

この「野草園」は、昭和59年より平成20年頃まで、「羽田野草の会」が中心となり、児童クラブ児童の情操教育をねらいに、多種多様の山野草を植え管理してきたものです。現在、会は解散し、雑草が生い茂り、管理が行き届かず懸案事項となっております。これからは、児童クラブ利用児童が安全な環境のもと、芝生の上での軽運動や水遊びなどができるようにいたします。

また、パイプ椅子10脚、折り畳みテーブル5脚を追加購入し、体育館での事業開催時に利用できるように

なりました。ほか、利用者の皆さんが利用団体と使用時間帯を確認できる電光掲示板を玄関内に備えつけました。

地区センターは、利用者の皆さんの利便性の向上に取り組んでおります。  
(裏面も参照を)

## 婦人消防協力会 役割を終え解散

令和5年度羽田地区婦人消防協力会総会が、3月31日(金)に羽田地区センターで開催されました。総会では、令和5年度の総会を最後に、活動に終止符を打つことが確認されました。

この決定は、各自治会から会員となり手がなく人選に困難をきたしていることから、存在意義を含め見直す時期に来ているのではとの声が多く寄せられ、令和4年度の役員が中心

## 交流を深めた 「ふれあい食堂」

### 児童、保護者、老人クラブ

4月2日(日)羽ねっちの会による「ふれあい食堂」が開設されました。子ども10名、保護者8名、白銀会老人クラブの皆さん11名、計28名が世代間交流をねらいに参加しました。

当日は、参加者全員でモルツクを楽しみ、食事に代わる羽ねっちの会の皆さんによる手作り「お弁当」を持ち帰りました。

となり議論を進め、新年度の理事、代議員に諮り賛同を得てのものです。

これまで、婦人消防協力会は、羽田地区民からの会費と市からの助成金により、住民の防火、防災意識の啓発活動を行ってきました。羽田が解散したことにより、奥州市婦人消防協力会連合会水沢支部では、8地区に存在していた団体が令和5年度は真城地区のみとなります。

今後、羽田地区婦人消防協力会が果たしていた役割を、各自治会自主防災、羽田地区自主防災が担うこととなります。

「ねらったピンに当てられ楽しかった」「新しい体験を通じ、地域の方と楽しく交流できた」「モルツクの遊び方がわかり、チームプレーの大切さもわかり楽しかった」などの感想が寄せられました。  
(新聞掲載記事は裏面)

## 紹介 地区センター スタッフ

令和5年度の羽田地区センター職員を紹介します。令和4年度と同じ顔ぶれのスタッフで業務分担も同様です。

- 地区センター長 今野俊宏
- 事務長 稲田寛之
- 地域活動員 及川朋子
- 及川由加
- 保坂成実
- 浅沼武美
- 高橋幸子
- 管理人
- "
- "
- 用務員

## 及川由加活動員が 6月30日で退職

及川由加地域活動員は、6月30日をもって退職することになりました。5年間、羽田の地域づくりにお力添えいただきました。

別紙、後任募集チラシを参照願います。



### 施設と備品を整備

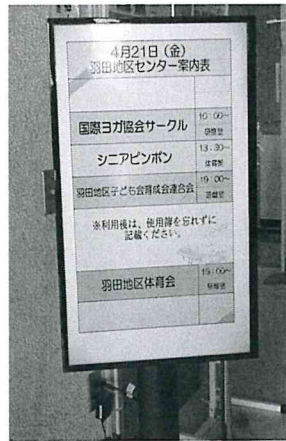
前ページで説明した購入物品等を紹介します。



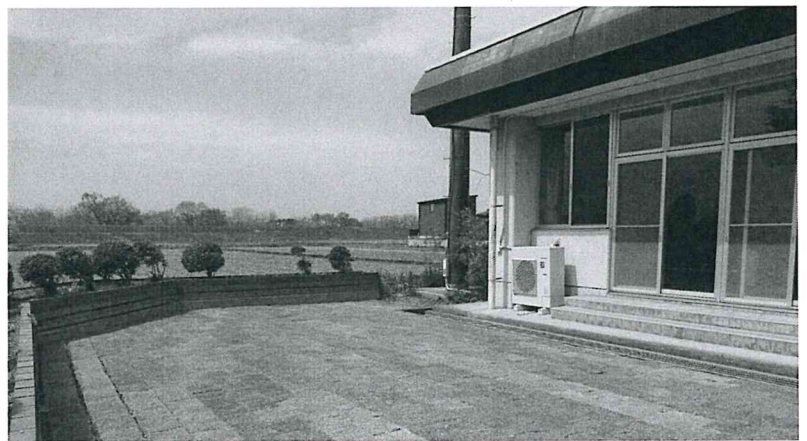
折り畳みテーブルが9脚となりました。使い勝手がよく便利です



これで60脚となりました



外から確認できます



「野草園」を撤去し芝生化しました。子どもたちが遊べます

### 3羽ねっちの会が 3回目の開設

## 「ふれあい食堂」

### 3世代楽しく交流

羽田・ふれあい食堂

### 遊び後、手作り弁当配布

水沢羽田町の「羽ねっちの会」(小野寺美代子代表)が主催する「ふれあい食堂」はこのほど、羽田地区センターで開かれた。地元の児童と保護者に加え、老人クラブ「田茂山白銀会」の会員も参加し、ゲームをしながら3世代交流を楽しんだ。終了後は、羽ねっちの会

メンバー手作りの弁当が配布された。社会福祉法人愛護会が協賛し、市社会福祉協議会や同地区振興会などが協力する「こども食堂」事業。本来であれば、その場で食事をしてもらうところが、新型コロナウイルス感染症防止のため、持ち帰りの弁当の形で対応した。

弁当ができるまでの間、児童や老人クラブメンバーらは、フィンランド生まれのアウトドアスポーツ「モルック」を体験。数字が書かれた棒を倒し、得点を競うゲームで、慣れないルールに最初は戸惑いながらも、次第にコツをつかんでいた。同老人クラブの佐藤チャ子さん(76)は「初めてやったゲームで難しかったが、孫世代の子どもたちと一緒に遊べて良かった」と喜んでいました。



3世代でモルックを楽しむ羽田地区の住民ら